

単元名	器械・器具を使つての運動遊び（固定施設・鉄棒）	配当時間	5時間
単元の目標	(1) 順番やきまりを守って運動したり、運動をする場所や器械・器具の安全に気を付けたりしようとする。 (2) 運動の仕方を知り、活動を工夫することができる。 (3) 固定施設や鉄棒を使って、自分の体をいろいろに動かし、楽しく遊ぶことができる。		
単元を構想する上での留意点	2年生の児童は、1年生の時に固定施設を使った運動遊びは学習済みである。しかし、固定施設の安全な遊び方を再確認するためにも、この単元は年度当初に行う。固定施設を使った遊びは、逆さになる感覚・スイングして振る感覚・腕で体重を支える感覚・飛び降りて着地する感覚など様々な感覚を楽しみながら身に付けさせることができる。休み時間にも遊びの続きとして行われるようにしたい。 本単元では、第1～2時に固定施設を使った電車ごっこで、鉄棒運動に必要な運動感覚をたっぷり体験させ、第3時から鉄棒遊びを中心に学習する。鉄棒遊びは、鉄棒を軸として、ゆれたり、回転したりするという独自のおもしろさがある。また、技を考えたり、技をつなげたりして、連続技をつくるという創造するおもしろさもある。教師がモデルとして示した「お話鉄棒」をもとにして、少しずつ鉄棒の「連続技」づくりに挑戦させる。		
単元展開例			
準備	学習カード		
学 習 活 動		留 意 事 項 な ど	
1 固定施設や鉄棒を使つての学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 おもしろい遊びを考え出したり、お話を作ったりして、遊具遊びをしよう ○学習カードの使い方を知る。 ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○グループを編成する。 ○ <u>電車ごっこ</u> の約束を知る。 ・運転手は自分の好きな固定施設にお客を連れて行く。 ・運転手はお客が付いてきているか確かめてから動く。 ・1か所回るとに運転手は交代する。 ・お客は運転手のやった動きや遊びをまねする。 まねできないときはそれに近い動きをする。 など ○電車ごっこをしながら固定施設を回り、運転手の動きをまねしたり新しい遊びを作り出したりして楽しむ。 ○発表会をする。 ・各グループのおもしろい遊びを発表する。 ・発表された遊びをまねる。		・学校にあるいろいろな固定施設を使って新しい遊びを考え出したり、お話を作って鉄棒遊びをしたりすることを知らせ、意欲を高める。 ・ 固定施設や鉄棒を使った遊びの例 カードに例示しておくといよい。 ・3～4人の少人数グループにする。 ・グループ名を○号車とつけると電車ごっこの雰囲気が出る。 ・学級の実態に応じて約束を決める。 ・前の児童の両肩や腰に手を置いて連結して動いたり、連結しないで少し間をおいて連なってもよい。 ・固定施設間を移動するときも、運転手のまねをしながら移動することを知らせる。 ・運転手になる順番を確認させ、順番を守って行わせる。 ・初めは教師が洗頭車両となり、各固定施設を回りながら安全な使い方を確認する。 ・運転手は、今までに友達がやっていない遊びを考え出すよう助言する。 ・発表された遊びの中から、まねしたい遊びを選んで行わせる。	

2～3 先生の作った<u>お話鉄棒</u>をする。（ねらい1） ○電車ごっこをする。 ○鉄棒を使って遊ぶ。 ○先生の作ったお話鉄棒をする。 ・モデル1 ぶたの木登りよっこらしょ、片手を離して、 またつけて、足を離しておりました、ハイポーズ ・モデル2 お猿さん片手を離して、字を書いて、ペタペタ進んでおりました、ハイポーズ ○発表会をする。 ○反省し、まとめをする。 ・お話鉄棒のできばえ ・グループでの協力 4～5 自分たちで作ったお話鉄棒をする。（ねらい2） ○電車ごっこをする。 ○グループで話し合ってお話を作る。 ○お話鉄棒の練習をする。 ○発表会をする。 ○反省し、まとめをする。 ・お話鉄棒のできばえ ・がんばったこと など ○第5時は単元のまとめもする。	・お話鉄棒について説明し、新しい技を練習して加え、自分のお話鉄棒を作り上げることを知らせる。 ・鉄棒遊びに関連した体ほぐしとして行う。 ・<u>逆さや脱力などの感覚づくりができる技</u>を教師が紹介し、その技を中心にして遊ばせる。 ・始めと終わりの合図をきちんとするだけで鉄棒運動の表現性が広がる。片手を上げて「始めます」「終わります（ハイ、ポーズ）」の動作を大切にする。 ・グループごとに発表させる。 ・児童が作った技を自由につなげてお話にして、鉄棒遊びを楽しむことを知らせる。 ・最初は、モデルのお話を元に部分的に変えて作らせていくとよい。 【評】グループで協力し合って練習する活動を通して、「関心・意欲・態度」を評価する。 【評】自分たちで考え出したお話鉄棒を発表する活動を通して、「思考・判断」「技能」を評価する。 ・グループでの話し合いや学習カードによる自己評価などをさせる。
--	---